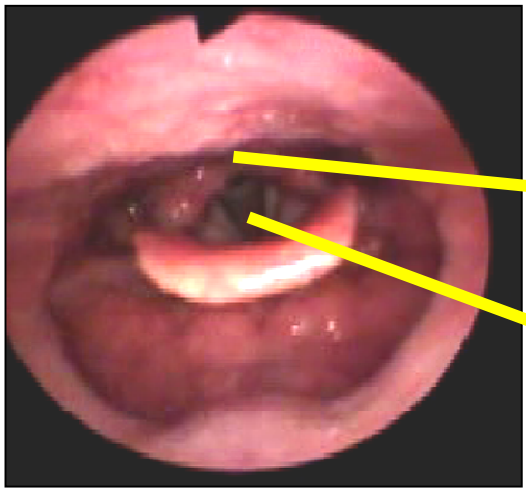
訪問歯科で飲み込みの検査ができます！
（嚥下内視鏡検査）

当院の訪問診療においては要介護高齢者の方の摂食・嚥下障害への対応を行っています。

摂食・嚥下障害・・・食べることや飲み込むことが困難なこと

誤嚥性肺炎の悪影響

食事中に食べ物が食道に入らず、誤って気管に入る事を誤嚥といいます。このことで引き起こされる肺炎は、誤嚥性肺炎といわれ、要介護高齢者の方の死因のトップになっています。



内視鏡検査（VE）

内視鏡で喉を観察しながら食物を摂取してもらい、**正しい姿勢・食事形態・食べ方の指導**をさせて頂きます！

患者さんの一例　79歳女性（在宅）

<最初に拝見した時>

以前、誤嚥性肺炎の既往があり、現在お粥と細かく刻んだおかずを食べていて、時々むせることがあるとのことです。

<診断と指導した内容>

①まず普段どおりのお食事を食べている時の内視鏡検査を行いました。むせる原因は飲み込む力が低下し、食物が喉に残り気管に入りやすいことがわかりました。

②刻んだおかずはかえって口の中でばらけてしまい、誤嚥につながっていたため、お粥に混ぜる、もしくはあんかけをかけるなどの食事形態の調整を行うようご家族にお話しました。

③飲み込む力を強くするために、調整した入れ歯を使った喉のリハビリを毎日ご家族にやってもらうようにしました。

①

②

③

<今の様子>

食事の形態を適切に変え、また、姿勢を正すことでムセが減少しました。更に、飲み込む力を改善させるリハビリを実施することで、食事時にほとんどむせることはなくなりました。

★こちらは飽くまで1例です。
お気軽にご相談ください。

やまねデンタルクリニック
（直通）090－2723－9119
FAX　03－3964－6363